

地域自然情報ネットワーク 第6期活動報告

平成20年7月1日から平成21年6月30日まで

I 事業報告

1. 自然環境の調査解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業

● 地域性苗木による緑化技術評価

道路の切土のり面における地域性苗木の導入による、自然復元の状況を調査し評価を行うために、平成20年度10月から現地調査を行った。調査項目は植生調査、フロラ調査、土壌動物調査、生物の生息にかかわる画像および音声の収集として。調査結果は平成21年度につなげ、Cop10にむけたプレゼンテーションとして整理する計画である。

● 日の出町景観評価

東京都日の出町において、総合的文化財把握モデル事業の中で、文化財として、あるいは様々な文化財を包含するものとして、景観調査を行い、整理した。また、これらの結果をもとに歴史文化基本構想及び関連資料の検討を行った。さらに、関連して委員会及びワーキングに出席した。

● 東京都エコロジカルレッドデータブック作成

セブンイレブン緑の基金の助成をうけて実施した。東京都内における希少な生態系や脆弱な生態系を抽出し、生物種や群落だけではなく、「場」の保全ができるような生態系レッドデータブック整備のための基礎的な調査および図化を行った。業務の進捗にあわせて、公開ワークショップを開催し、現状の課題や展望について討議した。

2. 自然環境情報の整備・公開事業

● 上サロベツ自然再生事業

再生技術部会および再生普及部会に参画した。上サロベツ自然再生全体構想に基づき、GISデータベースの活用した解析・情報提供、地生態学的見地からの自然環境評価やそれに基づく自然の活用など、具体的施策を提案した。

3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業

● 東京環境工科学園初級 GIS 講座

東京環境工科学園学生を対象に、自然環境分野へのGIS応用技術に関する集中講義を行った。20数名の受講生を得て、GISの基本的な操作方法とGPSによる現場でのデータ取得等について授業を行った。GCNが引き継いでから2回目の講座の実施で、概ね講義内容もまとまってきた。

● 東京環境工科学園応用編 GIS 講座

東京環境工科学園学生の初級GIS講座修了の学生を対象に、具体的な自然環境調査解析に資するGISの技術習得を目指し、ポテンシャルマップの作成実習など実践的な講座を開催した。

- **国際自然環境アウトドア専門学校へのGIS出前講座**

国際自然環境アウトドア専門学校の学生を対象に、基本的なデータの集め方といった基本的な事項、GPSによる現地でのデータ取得演習、ポテンシャルマップ作成などについて授業を行った。受講生は4名で、4日間の集中講義で実施した。

- **ESRI アジア・パシフィック会議へブース出展**

2009年6月4日から6月5日に東京ミッドタウンで開催されたESRI コミュニティフォーラムに活動報告ポスターを作成して展示した。来訪者に会の活動について紹介した。多くの会員にブース対応の手伝いを御願いし、会員交流の機会となった。

- **ESRI ワールド会議への参加**

2008年8月にサンディエゴで開催されたワールドユーザー会議に4名の会員がNPOとして参加した。サンディエゴからの帰りにシアトルに立ち寄り今木会員と交流の機会を得た。

- **地域自然情報研究会**

月一回の定期開催を続け、情報提供・情報交換・人材育成に努めた。本年度は毎回20名近くの参加者を記録し、研究会の意義を再確認した。

- **環境省レンジャーを対象とした講習**

レンジャー職員等を対照とした研修に講師派遣を行い、自然環境に関するGISの利活用方法について講義する

- **日本造園学会分科会における発表**

「COP10においてNPOが果たす役割」として話題提供を行った。地域性苗木による緑化の報告、エコレッドの提案活動等、近年の生物多様性にかかわる活動を報告した。

4. 自然環境保全にかかわる支援活動事業

- **西武・狭山丘陵パートナーズ指定管理業務**

東京都建設局の公園指定管理者として、「都立公園狭山丘陵グループ」に自然環境GISの整備と管理・運営への活動提案をする。5年継続業務の第3・4年目に当たる。

- ・ 都民協働・情報整備 : 資料データの整備と検索のためのデータ整備と都民活動への情報提供を引き続き行った。
- ・ 自然情報整備 : レンジャー取得データのデータベース化を行っている。また、貴重種などの指定管理移行前と指定管理移行後における分布の変化など、指定管理移行後の管理作業による生物多様性への貢献についてマップ作成を行った。
- ・ 情報公開 : GoogleAPIによるWebGISで情報公開を開始した。
- ・ 植物管理 : 管理記録のデータベース化とGIS整備をすすめて、利用しやすいものへと改良した。履行確認資料などの作成が簡単に行えるようになった。

- **大自然塾講師**

西武・狭山丘陵パートナーズが受注し、NPOBirthが実施している大自然塾への講師として支援を行った。雑木林の調査と整備計画作りについて、数回の講義と実習指導を行った。

- **阿蘇草原再生協議会**

前期に引き続き生物多様性翔委員会に参画し、前期に策定された阿蘇草原再生全体構想に基づき、GIS環境マップの作成や地元団体との協働によるGIS講座開催を提案する。

5. その他の事業

- **メーリングリスト・ホームページの維持管理**

メーリングリストの管理を行う。ホームページは月1-2回の頻度で更新。メーリングリストは入退会に応じて随時行った。

- **入会パンフレットの作成**

理事の移動にともない入会パンフレットを更新した。

- **ニュースレターの発行**

休刊中。

II 会員数

第6期末において以下のようなものである

- ・正会員 6月30日 現在 71名
- ・サポート会員 6月30日 現在 37名
- ・賛助会員(法人)入会 1 現在4法人

III 報告書・印刷物・学会発表等

- 「生態系レッドデータブックを考える」—公開ワークショップ— 平成21年1月25日講演録
- 平成20年度首都圏中央連絡自動車道 八王子JCT～あきるのIC間のり面緑化追跡調査報告書； 中日本高速道路株式会社東京支社 八王子工事事務所・地域自然情報ネットワーク
- 自然環境復元協会ニュースレターVol131号(2009年5月発行)へGCNの紹介記事の投稿(井本) http://www.narec.or.jp/images/stories/newsletter/vol131_0905.pdf